



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和6年度学校だより
第9号
令和6年11月29日発行

ありがとうの花を咲かせよう

「秋」という季節がいつやってきたのかが感じられないまま、日が暮れるのがずいぶん早くなり、冬の訪れを感じます。

♪ありがとうっていったら みんながわらってる そのかおがうれしくて なんどもありがとう

今、毎日のお昼の放送で、この歌が流れています。朝の会で歌っている学級もあり、教室から歌声が聞こえてきます。これは『ありがとうの花（作詞：坂田おさむ氏）』の一節で、人権月間の歌として、まとめの集会ではみんなで歌えるように取り組んでいます。



児童会では『ありがとうの花をさかせよう大作戦』に取り組んでいて、周りの人に「ありがとう」が言えたりあいさつができたりすると、掲示板の志ラッキーのまわりにハートの形をした花をどんどん貼っていています。

「ありがとう」という言葉は「有り難し」からきているようで、めったにないことや貴重なことを表していたのが、めったにないことがあったときに、感謝を伝える言葉になったようです。「ありがとう」の反対は何かご存じでしょうか？「あたりまえ」だそうです。普段の生活で当たり前と思っていることは、実は誰かの思いやりや努力で成り立っていて、朝ごはんが食べられて当たり前、学校に安全にいられて当たり前、優しくしてもらって当たり前…そんなふうに思っていることが多くあります。

毎朝、子どもたちの登校時に昇降口に立って「おはよう」とあいさつをしているのですが、先日、子どもたちから「おはようございます」のあいさつとともに「校長先生、毎朝、あいさつをしてくれてありがとうございます」と言われ、思わず「こちらこそ、元気にあいさつをしてくれてありがとう！」と返しました。自分では当たり前のようにしていることですが、「ありがとう」と言われるとなんだかうれしい気持ちになるのは大人も同じです。「ありがとう」の気持ちを心の中で思っているだけではなく、声に出すことで、人と人の心がつながり、温かくなり、毎日の生活がより楽しく、豊かなものになるように思います。



♪ありがとうの花がさくよ きみのまちにもホラいつか

ありがとうの花が咲き、笑顔があふれる志楽小学校になるよう、私たち教職員も「ありがとう」と伝えていきたいと思えます。ご家庭や地域でも「ありがとうの花」を咲かせてください。

今年もあとひと月、2学期のまとめの時期となりました。行事や日々の学習での成長を振り返り、また、3学期に向けての新たな目標を持たせていきたいと思えます。ご協力・ご支援をよろしくお願いたします。



校長 西井 佳寿美
教職員 一同

白糸中学校区小中一貫教育

～5年生 夢実現講演会～

11月11日（月）白糸中学校区の2つの小学校の5年生が新舞鶴小学校に集まり、「夢実現講演会」を開催しました。講師には東舞鶴高校の竹本先生をお招きし、先生のご経験から、夢を実現するために大切にしたいことについてお話を聞きました。



～特別支援学級 交流会～

11月25日（月）白糸中学校区3校の特別支援学級の友達が白糸中学校に集まって、交流会をしました。中学生が交流の内容を企画・進行してくれました。学校紹介をしたり、いろいろなゲームをしたりして、交流を深めました。

